



(社)和歌山県サッカー協会

『和歌山F A行動計画 2010』

行動計画の必要性

本協会は2005年12月に任意団体から法人格を取得し、社団法人和歌山県サッカー協会となりました。現在まで、本会定款の目的『和歌山県においてサッカーの普及発展、競技力の向上に関する事業を行うとともに、財団法人日本サッカー協会の事業に協力し、もって和歌山県民の豊かなスポーツ文化を創造し、心身の健全な発展と社会の発展に貢献する』を達成するため、総務、審判、技術、規律・フェアプレー、医事、経理、各種別委員会及び支部を組織し、キッズ、スポーツ少年団や中高生のサッカー技術の向上、社会人、シニア、女子やフットサルチームの拡大を推進し、多くの大会やイベントを開催しサッカー競技の普及、発展を図ってきました。

これまで、サッカー人口の増加に伴い、サッカーに対する理解は県民の中に徐々に定着し、サッカーを取り巻く環境も年々向上してきています。しかし、近年の少子化に伴う登録人口の伸び悩みをはじめとして、国体選抜チーム及び各種大会和歌山県代表チームの成績不振、リーグ戦化に伴う審判員不足、上級審判員の減少、芝ピッチを有する施設やフットサル使用可能体育館の不足など様々な課題があることも事実です。また、2015年には国民体育大会が本県で開催されます。

更なる環境の向上と課題解決の為には、将来に向けた理念とビジョンを策定し、皆で共有し行動することが必要です。大事なのは、サッカー関係者が一丸となって目標実現のため努力する事です。目標達成時期等を設定し、各委員会の役割を明確にすることで年々向上している本県サッカーの発展を加速させることができると考え、ここに行動計画を策定いたします。

2010年7月10日

(社)和歌山県サッカー協会
会長 平越 孝哉

= はじめの一步 =

『試合を全種別(シニア～キッズ、女子及びフットサル)同一会場で開催しよう』
～ カテゴリーを統一したスケジュールの作成とピッチの確保～



(社)和歌山県サッカー協会

= 今からすべきこと =

・環境の整備

- (1) 試合環境の整備
 - ・ 1種社会人リーグの再編と地区リーグの新設
 - ・ 2種3種リーグと既存大会とが融合した年間行事計画の実施
 - ・ 4種年代における既存大会の根本的見直しと各地区でのリーグの整備
 - ・ シニアリーグの新設
 - ・ 各年代リーグ戦運営の簡素化
- (2) トレーニング環境の整備
 - ・ 練習用具(簡易ゴール等)および練習方法(スモールサイドゲーム等)の提供推奨
- (3) 経済的環境の整備
 - ・ 強化費の確保と選手・指導者の負担軽減
- (4) 施設の整備
 - ・ 普及強化活動に使用できる芝ピッチを各地区に整備
 - ・ 小学校の校庭及び運動公園の芝生化推進
 - ・ サッカー専用スタジアムの建設運動

・強化と育成

- (1) 選手/チーム
 - ・ 県トレセンの充実と地区トレセンの普及
 - ・ トレセン飛び級制度の実施
 - ・ チーム強化を目的としたリーグ戦及びフェスティバルの実施
- (2) 指導者
 - ・ トレセン担当コーチの養成強化と育成年代指導者の資質向上
 - ・ コーチングスクールの新設
 - ・ フットサル指導者講習会の実施
- (3) 審判員
 - ・ インストラクターの資質向上と審判指導体制の整備
 - ・ 若手審判員の養成強化
 - ・ ユース審判に特化した研修会の実施
 - ・ 審判講習会開催方法及び昇級認定方法の工夫改善



(社)和歌山県サッカー協会

・組織と運営

(1) 組織再編と運営役割の明確化

- ・ 総務、技術、審判、規律、経理の専門委員会委員は各種別からの選出を基本とし、各種別委員会に、広報、登録、施設、技術、審判、規律、経理担当者を置く。専門委員会は各種別委員会の担当者の集合体(広報・登録・施設担当は総務委員会に属す)とし、総務委員会規模拡大とカテゴリーを超えた組織強化を図る。

| 専門委員会 | | 各専門部長等 | 各種別担当者 (1種・2種・3種・4種・ 女子・フットサル) | 人員数(備考) |
|-------------|-----|------------|--------------------------------------|-----------------|
| 総務委員会 | 委員長 | 広報部長 | 広 報 | 22名 + 若干名 |
| | | 施設部長 | 施 設 | |
| | | 登録部長 | 登 録 | |
| 技術委員会 | 委員長 | ユースダイレクター | 技 術 | 9名(フットサル除く) |
| | | トレセン部長 | | |
| | | 指導者養成部長 | | |
| 審判委員会 | 委員長 | 競技部長 | 審 判 | 10名 |
| | | 強化育成部長 | | |
| | | インストラクター部長 | | |
| 規律フェアプレー委員会 | 委員長 | | 規 律 | 7名 |
| スポーツ医学委員会 | 委員長 | ドクター部長 | | 委員長・部長 + 若干名 |
| | | トレーナー部長 | | |
| 経理委員会 | 委員長 | | 経 理 | 7名 |

- ・ 各種別委員会及び専門委員会の役割確認と整理

(2) 財源の確保

- ・ 賛助会員と法人スポンサーの獲得
- ・ 物品販売の実施

(3) 登録者数の増加対策

- ・ 保育園・幼稚園巡回指導及びキッズスクール・フェスティバルの充実
- ・ 女子小学生へのアプローチ強化と中高生年代の活動場所の創設
- ・ ハンディキャップサッカーの充実と登録推奨
- ・ メディアの活用
- ・ 育成年代における選手移籍の条件緩和

(4) 社会貢献と国際交流

- ・ JFAこころのプロジェクトの実施
- ・ 献血・AED講習会等の活動推進
- ・ 定期的な海外遠征等の交流事業の実施



(社)和歌山県サッカー協会

(2015年委員会目標)

【1種委員会】

- ・ 県1部:6チーム、県2部:6チーム、地区リーグ3リーグ:各10チーム以上所属
- ・ 上位リーグ(地区 県2部 県1部 関西)に準じた運営の確立
(1部リーグの全ての試合を芝生で開催し、審判員は審判委員会の派遣とする)
- ・ 関西社会人リーグに1部リーグ:1チーム、2部リーグ:1チーム以上が参戦
- ・ 1種登録チーム:45チーム 1種登録選手:1,000名
- ・ シニア登録チーム:10チーム シニア登録選手:200名

【2種委員会】

- ・ 関西プリンスリーグに1部リーグ:1チーム、2部リーグ:2チーム以上が参戦
- ・ 県代表チームが全国大会(高校総体、高校選手権)においてベスト8に入る
- ・ 1級1名、2級8名の審判員と2級3名、3級8名の審判インストラクターを養成

【3種委員会】

- ・ 関西サンライズリーグに2チーム以上が参戦
- ・ 関西クラブユース選手権において決勝トーナメントに進出
- ・ 全国中学校サッカー大会において2チーム出場し、ベスト8に入る
- ・ 高円宮杯全日本ユース(U-15)関西大会ベスト4に入り、全国大会出場

【4種委員会】

- ・ 全日本少年大会において決勝トーナメント進出
- ・ 各関西大会において決勝戦に進出
- ・ 全加盟チームの監督はC級ライセンス以上所有
- ・ 4種登録チーム:80チーム 4種登録選手:3,000名

【女子委員会】

- ・ U-18全日本ユース関西予選1回戦突破
- ・ U-15全日本ユース関西予選2回戦突破
- ・ U-12ガールズエイト全国大会1回戦突破
- ・ 女子登録者数:300名
- ・ 女子種別に携わる指導者でB級ライセンス2名以上、C級ライセンス10名以上

【フットサル委員会】

- ・ 県リーグに40チーム以上所属
- ・ 関西リーグに2チーム以上が参戦



(社)和歌山県サッカー協会

【総務委員会】

- ・ 天然芝ピッチ 7 面整備
- ・ 各市町村に小学校校庭芝生化 1 校・フットサル開放体育館 1 ヶ所以上
- ・ 賛助会員 30 名、法人スポンサー 10 社獲得

【技術委員会】

- ・ 和歌山国体において国体選抜女子:ベスト8、少年:ベスト4、成年:優勝
- ・ ナショナルトレセンU - 12において本県所属選手を 5 名以上輩出

【審判委員会】

- ・ S1級 2 名、S 女子 1 級 1 名、S2 級 30 名(うち 20 代 10 名以上、女子 2 名以上)、S3 級 250 名、S4 級 750 名、SI1 級 1 名、SI2 級 10 名、SI3 級 20 名、F1 級 1 名、F2 級 5 名、F3 級 50 名、F4 級 200 名、FI2 級 2 名、FI3 級 5 名養成
S = サッカー、F = フットサル、SI = サッカーインストラクター、FI = フットサルインストラクター
- ・ 全加盟チームに 3 級以上の帯同審判員が 1 名以上
- ・ 全カテゴリーにおける県大会準々決勝以上の主審に 2 級審判員を派遣
- ・ 全カテゴリーの県大会にインストラクターを派遣

= みんなの目指す場所 =

(2050 年目標)

「すばらしいサッカー文化を和歌山に根付かせよう」

1) サッカーを愛する仲間 = サッカーファミリーを人口比 10% 以上にしよう
~ 近所のグラウンドや学校でサッカーが盛んに行われている風景の日常化 ~

2) 世界の舞台で活躍する人材(選手・チーム・審判・指導者)を育てよう
~ 和歌山らしさの追及と年代別育成目標の確立 ~

3) 子どもたちが夢と希望を抱ける環境を創ろう
~ 国際試合ができるスタジアムと Jリーグ優勝チームを和歌山に ~